

福井ではどうして化石が 発見されやすいのか

金沢錦丘高校 自然科学部
3134 安本康平 3211 髪井将義

福井の恐竜化石発掘の歴史

第一次恐竜化石発掘調査 (1989～1993)・・・フクイサウルスの歯骨やデイノニコサウルス類の足跡化石など約300点発見

第二次恐竜化石発掘調査 (1995～1999)・・・フクイベナートル幼体の脚や腕の骨、ほぼ完全なフクイサウルスの頭骨、恐竜の卵の化石が発見される

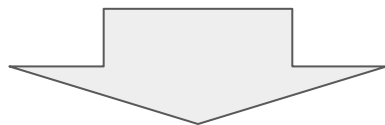
第三次恐竜化石発掘調査 (2007～2010)・・・フクイティタンやフクイベナートルの全身、哺乳類の歯や顎の化石など3000点発見

第四次恐竜化石発掘調査 (2013～2023)・・・ティラノミムスの節骨やフクイプテリウスの全身骨格、模様のある淡水生二枚貝などの原始的で希少な発見が続く

古代生物の解明の最前線に立っている!

福井の発掘現場で恐竜の化石が 見つかるようになったきっかけ

福井県勝山市北谷は貝の化石が見つかることで古くから知られており、「トリゴニオイデス産地」として天然記念物に指定されていた。1982年には、ワニの全身骨格化石も発見された



1986年に石川県白峰村から肉食恐竜の歯の化石が発見され、勝山市北谷でも調査した結果、多くの恐竜化石が発掘された

化石が発見されやすい理由

福井で多くの恐竜の化石が発見されるのは、恐竜が生きていた頃に陸(川や湖など)でたまった地層の中でも、骨などが特にかき集められていた部分(ボーンベッド)を発見することができたから

福井では早くから大規模で集中的な発掘が続けられてきたから

福井の恐竜化石の今後

2020年12月の時点でフクイサウルスが全身の3から4割、フクイラプトルは2割くらいの化石が発見されている

今後は更に、福井県でこれらの未発見の部分や新たな恐竜の化石が発見されることを期待したい

参考文献

福井県立恐竜博物館: FPDM

<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/dino/faq/>

恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク

<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/geopark/index.html>